

平成 28 年度「建設産業構造改善推進のつどい」開催 (2016 年 9 月 15 日)

平成 28 年 9 月 15 日、静岡市産学交流センターで平成 28 年度「建設産業構造改善推進のつどい」が開催され、当協会の(有)昭花園の寺田恒夫氏が静岡県優秀施工者褒状を授与されました。



静岡産学交流センター「プレゼンルーム」には建産連関係者が多数集まった。



冒頭で祝辞を述べる杉保静岡県交通基盤部理事



挨拶をする木内会長



受賞者の(有)昭花園の寺田恒夫氏



杉保県理事より褒状を授与される。

本年度の受賞者 10 名と記念撮影

第 9 回静岡景観賞の現地調査が始まりました (2016 年 9 月 9 日)

平成 28 年 9 月 7 日から第 9 回静岡景観賞の現地調査が始まりました。

9 月 7 日は掛川市、磐田市、浜松市北区、湖西市です。

9 月 20 日は三島市、御殿場市です。

9 月 27 日は富士市、富士宮市と県庁で最終審査です。

全部で 10 か所を調査します。



逆川と掛川城下の緑による景観づくり



豊岡中央交流センター



奥浜名湖田園空間博物館



新居関所を中心とした歴史的町並みの再生

袋井特別支援学校 緑の保全事業 (2016 年 9 月 8 日)

平成 28 年 9 月 7 日、袋井特別支援学校で緑の保全事業を実施しました。指導したのは、市川造園(株)の市川明広氏、(有)山本造園の山本哲也氏、(有)昭花園の寺田祐一郎氏、(株)大瀬造園の堀之内一友氏です。高林会長も見に来てくれました。

作業は高等部の生徒 13 人と花壇の土作りです。ショベルやクワなど使い慣れていない道具で一生懸命、土と堆肥を撈拌しました。



はじめに市川西部支部長の挨拶と注意事項です。



花壇に掛かっていたシートをはがします。



堆肥の入ったビニール袋から出します。



土の上に広げて、土と攪拌します。



土の中にある草の根を取り除きます。



最後に、また、シートをかけて終了です。

緑化巡回アドバイザーが始まりました (2016年9月6日)

平成28年9月5日から平成28年度育成管理指導事業緑化巡回アドバイザーが始まりました。

東部地区は9月5日は伊豆市、三島市、函南町、熱海市、9月6日は長泉町、裾野市、9月7日は富士宮市、富士市です。

中部地区は9月12日は静岡市清水区、9月13日は静岡市葵区、駿河区、9月14日は藤枝市、島田市、牧之原市です。

西部地区は9月16日は袋井市、浜松市東区、浜松市中区、9月20日は浜松市北区、浜松市中区、浜松市西区、9月21日は浜松市南区、浜松市西区、湖西市です。

全部で 30 施設について、巡回指導を当協会の会員が行います。



伊豆市修善寺自然公園(モミジを植栽しました)



三島市松本幼稚園では園庭の芝生化をしました。



熱海市姫の沢公園ではツツジの間に管理道を整備しました。



函南町ひまわり保育園では芝生化をしました。

吉田特別支援学校 緑の保全事業 (2016年8月30日)

平成 28 年 8 月 24 日から 26 日、吉田特別支援学校で、学校からの要請により伐採と剪定を実施しました。施工は(有)岩本造園さんが行いました。



大きくなって落ち葉などの管理が大変になったメタセ



伐採後です。

コイアを伐採しました。



植栽時から高密度なため枯れたケヤキを伐採しました。

伐採後です。



落枝のおそれがあるケヤキの枯枝を剪定しました。 ケヤキの枯れ枝剪定です。

静岡県巨樹と森林文化の会 第25回通常総会 (2016年7月25日)

平成28年7月25日、静岡市葵区のクーポール会館で「静岡県巨樹と森林文化の会第25回通常総会」が開催されました。提出された議案はすべて承認されました。また、「巨樹・古木写真コンクール」の表彰式も行われました。



会員など 40 名程度が参加しました。



榛村会長の挨拶



知事賞を授与される入賞者



田中県自然保護課長の来賓祝辞

蓮華寺池公園のハスなど (2016 年 7 月 20 日)

平成 28 年 7 月 15 日、藤枝市の蓮華寺池公園に行ってきました。蓮の花が満開で、オニバスや色とりどりのスイレンも咲いていました。



ハスの花が満開です。



花びらの先だけがピンクの品種もあります。



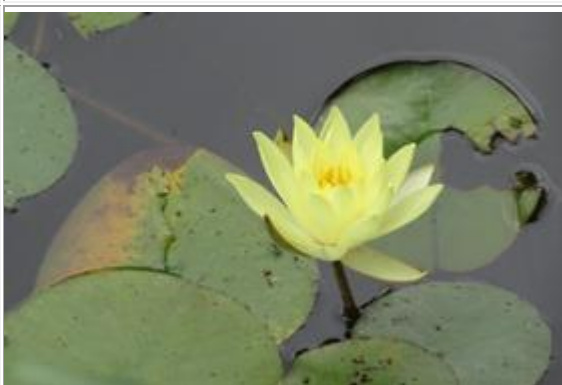
オニバスも葉を突き破って咲いています。



朱色のスイレン



ピンクのスイレン



薄い黄色のスイレン

三保松原でドローン (2016年7月19日)

平成28年7月15日、JR東日本コンサルタンツが三保松原でドローンによる撮影により、マツの傾き、枝のバランス、葉の量などを計測する試験を行うというので、見てきました。

ドローンはDJI製の最新鋭機ファントム4です。



障害物回避センサーを備えているので、プロペラガードは後ろ側だけにあります。



カメラは機体の真下に設置されているので、機体の映り込みはありません。



駐車場から高さ 1.5m くらいまで上昇させ、ホバリングしています。非常に安定しています。



マツに向かって上昇中です。高さもセットされた高さまで自動的に飛んでいきます。



コントローラーのタブレットを見ながらリアルタイムの画像を見ながら操縦できます。



上空からの画像です。画面を直に撮影しているので、不鮮明ですが、実際はクリアです。

吉田特別支援学校緑の保全事業 (2016 年 7 月 6 日)

平成 28 年 7 月 5 日、吉田特別支援学校で花壇作りを実施しました。講師は、吉田町の(有)岩本造園の岩本桂典さん、(有)松浦造園の松浦伊佐雄さん、(株)特種東海フォレストの紅林さんです。生徒さんは中学部の 9 人で先生が 4 人、ほかに中学部の主任、副校長、教頭さんも顔を出してくれました。植えたのはポーチユラカ 40、ニチニチソウ 80、ブルーサルビア 40、ルドベキア 40 で全部で 200 株です。



前日に花の種類ごとの区分とマークを入れてもらいました。



開会の挨拶は松浦造園さんです。



奥のほうから順番に植えていきます。植えた苗を踏まないように気を付けて！



ニチニチソウは花の色が複数あるので配色を考えて植えます。



仕上げにみんなでじょうろで散水



植えた花壇の後ろに並んで記念撮影

吉田特別支援学校緑の保全事業 準備工事 (2016年7月6日)

平成28年7月2日、吉田特別支援学校の緑の保全事業のための準備工事を実施しました。生徒さんたちとの作業は、旗の掲揚台の周辺の花壇を整備することですが、事前に調べたところ木の根やコンクリートの塊などがあり、花壇の土として相応しくないと判明したので、本番前に土の入れ替えをしました。施工したのは吉田町の岩本造園さんです。



雑草は取り除きましたが、木の根やコンクリートの塊があって、固くて子供たちでは耕せません。



重機で掘削します。コンクリートも破碎し、木の根も除去します。さすがに機械の威力です。



掘削した土はダンプに積み込み、空港近くの残土処理場まで運搬します。



掲揚台の片側は午前中でほぼ完了しました。



木の根やスギナの根が多く苦労しています。



この日は陸上教室が開かれ、生徒さんがグラウンドを走っていたので、作業現場はコーンで囲みました。

平成 28 年度静岡県さくらの会第 51 回通常総会 (2016 年 6 月 14 日)

平成 28 年 6 月 14 日、県庁西館4階第1会議室において、平成28年度静岡県さくらの会第51回通常総会が開催されました。総会に先立ち平成28年度さくら功労者として、菊川市の鈴木勝章氏、焼津市の焼津市山の手未来の会が、平成28年度さくら写真コンクール最優秀賞は掛川市の後藤正徳氏、特選「静岡県内の桜」部門で松崎町の渡辺玲子氏がそれぞれ表彰されました。

総会ではすべての議案が原案どおり承認されました。



挨拶をする副会長の高木氏



写真コンクール最優秀賞の後藤正徳氏

さくら功労者として表彰される鈴木勝章氏



写真コンクール特選の渡辺玲子氏



会場には会員の市町職員らが出席しました。



写真コンクールの応募作品の一部が展示されました。

ビオトープフォーラム in 静岡 2016 開催 (2016年6月3日)

平成28年6月3日、ビオトープフォーラム in 静岡 2016 が静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催され、会員らが80人参加しました。当協会も50周年記念事業として共催しました。



櫻井会長が開会の辞で「協会は多様化する生態系インフラストラクチャー事業の社会的要請に寄与することに努めること」を述べました。



会場には当協会の会員らと全国のビオトープ協会の会員らが参加しました。



来賓として県くらし・環境部の志村理事が祝辞を述べました。



ビオトープ大賞など各地でビオトープ整備を行っている団体が受賞されました。



笹龍谷大学名誉教授がヨーロッパと日本との自然観の違いについて、講演しました。



県自然保護課の馬塚課長代理が静岡県の生物多様性保全の取組について講演しました。

(一社)静岡県建設産業団体連合会 会長表彰式 定時総会開催 (2016年5月30日)

平成28年5月30日、静岡市産学交流センターにおいて、平成28年度(一社)静岡県建設産業団体連合会の会長表彰式・定時総会が開催されました。高林会長が総会及び理事会に出席しました。沼津市の(有)緑香園の山本宣司様、浜松市の(株)大瀬造園の堀之内一友様(欠席)が表彰されました。



開会のことばを述べる小野副会長



開会のあいさつをする木内会長



会場の全景



表彰された山本宣司氏

初夏の蓮華寺池 (2016年5月24日)

平成28年5月21日、蓮華寺池で開催された自然観察会に参加しました。フジの花は終わりましたが、ツツジが咲いて、ハナショウブが咲き始めました。池では生き物たちが動き始めています。コフキトンボ、ウチワヤンマ、クロイトトンボなどトンボ類、カメではミシシippアカミミガメが優占していますが、クサガメも健在です。山ではキビタキが盛んに囀っていました。今年、孵ったシジウカラヤスズメの雛も独立立ちを始めているようです。



いつもはシャイで水に潜ってしまうウシガエルが何故かのんびりと浮いていました。



クロイトトンボも恋の季節です。



珍しくクサガメが甲羅干しをしていました。



キビタキは囀りも姿も美しいのですが、なかなか姿を見せてくれません。



今年孵ったスズメの子です。



やはり今年孵ったシジュウカラの子です。

公益社団法人静岡県造園緑化協会 平成 28 年度定時総会開催 (2016 年 5 月 13 日)

平成 28 年 5 月 13 日、静岡市葵区のグランディエールブuketーカイにおいて、公益社団法人静岡県造園緑化協会の平成 28 年度定時総会が開催されました。会員 93 名のうち出席者 50 名、委任状 34 名、電子メールでの委任 2 名で、第 1 号議案「平成 27 年度事業報告書及び財務諸表等承認の件」、第 2 号議案「平成 28 年度入会金及び年会費の額並びに納入時期及び納入方法決定の件」、「役員選任の件」はいずれも原案の通り承認されました。



櫻井副会長の開会の辞で開式



高林会長挨拶



会場の様子



会長表彰の受賞者の皆さん



県くらし・環境部志村理事から祝辞をいただく



総会終了後の懇談会

駿府城公園 ポプラの綿毛舞う (2016年5月12日)

平成 28 年 5 月 12 日、昨日までの雨が上がって駿府城公園のポプラの種の綿毛が雪のように舞っていました。柳絮(りゅうじょ)というらしいです。



通路や芝生をふんわりと雪のように覆っています。



木の上にも少しだけ残っていました。



ポプラの種をドバトが食べていました。



自転車の人は綿毛の塊は避けていました。



風が吹くと、まるで雪が降っているようです。



小さな女の子はお母さんにしがみついていた。

ビオトープフォーラム in 静岡 2016 開催 (2016 年 5 月 9 日)

ビオトープフォーラムの全国大会が静岡市で開催されます。当協会は共催しています。

日時:平成 28 年 6 月 3 日(金) 13:00~16:45

会場:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大会議室

内容:

【第 1 部】

- ・第 8 回ビオトープ顕彰受賞作品 発表・表彰式
- ・事例発表

【第 2 部】

- ・基調講演「人と生物のための生態系インフラ」横浜国立大学名誉教授 鈴木邦夫氏
- ・特別公演「ドイツ・スイスのビオトープづくり」元龍谷大学教授 笠文彦氏
- ・講演「静岡県の生物多様性保全の取組」静岡県自然保護課課長代理 馬塚雅敏氏

世界最大の花 ラフレシアを見てきました (2016 年 5 月 6 日)

2016 年 4 月 25 日からマレーシアのボルネオ島に行ってきました。

世界最大の花と言われる「ラフレシア」はキナバル山のふもとのポーリン温泉にありました。

ラフレシア(Rafflesia)は東南アジア島嶼部とマレー半島に分布し、花は直径 90cm 程もあり、「世界最大の花」として知られています。この花の花粉を運んでいるのは死肉や獣糞で繁殖するクロバエ科のハエです。

スカウという集落近くのロッジに宿泊して、ジャングルクルーズでアジアゾウ、オランウータン、イリエワニなども見ました。鳥はシロハラウミワシ、コシアカキヌバネドリ、ミヤマタイヨウチョウなど 115 種観察できました。



ラフレシアの花です。この花は直径 50 cm くらいでした。



テングザルのオスです。若い雄、母子と群れを作っています。葉を食べるので腸が長く、太鼓腹です。



オランウータンの母親です。葉の陰で見えませんが、あかん坊を右手で抱えています。



アジアゾウの家族です。この群れは6頭いましたが、動物園のゾウ舎の匂いがしました。



4m を超えるイリエワニです。水の中にいるときは、目だけ出しているの、見つけるのは難しいです。



サイチョウの仲間は6種見ましたが、中でも珍しいシロクロサイチョウです。

造園施工管理技士会視察(あしかがフラワーパーク) (2016年4月28日)

平成28年4月27日午前7時10分に静岡駅を出発し、8時30分に三島駅に到着して総勢15名で栃木県足利市のフラワーパークを目指して出発しました。東名高速道路の厚木ICから開通した圏央道を経由し予定より40分早くあしかがフラワーパークに到着しました。

既に多くの来場者で入り口付近はごった返しており、園内も人だらけでした。お目当ての大藤、白藤、うす紅藤はほぼ満開の状態で大変素晴らしいものでした。例年より開花が早かったので満開時に来園できて参加者の皆さんは喜んでいました。

その後、館林市のつつじが岡公園に向いこちらも満開のヤマツツジを堪能することができました。推定樹齢 800 年を誇るツツジなど色とりどりのツツジを見学し満足して帰途につきました。



満開に近い長藤



白藤のトンネル



移植に成功した樹齢 130 年の大藤



つつじが岡公園のヤマツツジ

万葉の森公園 (2016 年 4 月 13 日)

平成 28 年 4 月 12 日、浜松市浜北区にある森林・林業技術センターへ出張の際に、近くの万葉の森公園に行ってきました。ソメイヨシノは散っていましたが、お目当てのオキナグサは適期は過ぎていましたが、まだ、咲いていました。シュンランやイカリソウも咲いていました。新緑が美しく、静かな良い公園でした。



ソメイヨシノは終わっていましたが、新緑が綺麗でした。



オキナグサ(時期が遅かったせいか、大きな株ばかりでイメージにあった株は少なかったです。



既に花が終わって実をつけたオキナグサ



鋭い棘のあるカラタチも花をつけていました。



シュンランも時期は過ぎているのですが、1株だけ咲いていました。



イカリソウはピンクと白の両方ありました。

藤枝 瀬戸川の桜 (2016年4月8日)

平成28年4月8日の藤枝市の瀬戸川の桜です。ようやく、満開になったと思ったら、低気圧の直撃で一部の花が散ってしまったのは残念でしたが、なかなか綺麗だと思います。



金比羅山の斜面の桜は毎年早めに咲きます。



勝草橋から上流の左岸側です。



ぼんぼりもあって、夜桜も楽しめます。



ヒヨドリが盛んに蜜を吸っています。



クスノキの赤い新芽もきれいです。



モンシロチョウは菜の花に来ていました。